

6月定例会

資源化センター大規模改修工事の契約締結、一般会計補正予算など11議案を可決

第2回定例会は6月1日から16日までの会期で開催しました。今定例会では、審議会などの委員のうち、大学教授もしくは准教授などへの報酬額の見直しや、資源化センター大規模改修工事の契約締結など11議案が上程され、このうち9件が委員会へ付託となりました。ここでは委員会付託となった議案のうち、主なものの審査概要を報告します。議案の件名および審議結果は、最終面「平成29年第2回定例会の会議結果」のとおりです。

なお、6月13、14日に議員19名が市政に関する一般質問を行いました。主な質問・答弁の要旨は3ページ以降に掲載しています。

海老名市非常勤特別職等の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

審議会等委員のうち、大学教授もしくは准教授またはこれに類する職にある者の報酬額の見直しを行うもので、全員賛成により可決されました。総務常任委員会の審査概要は次のとおりです。

問 なぜこのタイミングで改正するのか、理由を教えてください。

答 3月定例会の議決を受け、4月に新設した学校施設再整備計画策定検討委員会では、専門的な知識を有する教授などの委員の報酬額を月額87000円に60000円を加算した額としていることから、改めて各審議会の大学教授などへの報酬額について協議した結果、同様に加算することが必要という結論になりました。

意見 今回の改正だけでなく、月額報酬の引き上げについても近隣市の状況などを踏まえ研究してほしい。

海老名市一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

人事院規則などの改正に鑑み、育児を行う本市職員の職

業生活および家庭生活の両立を一層容易にするため、条例の一部改正を行うもので、全員賛成により可決されました。総務常任委員会の審査概要は次のとおりです。

問 条例改正の理由について伺います。

答 法律の改正に伴うものではないため、必ず改正しなければならぬものではありませんが、昨今の子育ての環境整備や保育事情を考慮し、改正したいものです。

工事請負契約の締結について

(海老名市資源化センター大規模改修工事)

海老名市資源化センター整備事業の設計・施工一括発注にかかる事業者を公募型プロポーザル方式で選定し、請負契約を締結するもので、全員賛成により可決されました。経済建設常任委員会での審査概要は次のとおりです。

問 契約方法についてプロポーザル方式を採用した理由を伺います。

答 今まで培ってきた事業者の経験や技術力、創造力などを生かした提案を受けられる点にメリットを感じ、採用しました。

問 設計と施工を分けて一括発注にした理由について伺います。

答 資源物の処理機器はメーカーによりサイズなどが異なる

ります。処理機器を特定した上で、そのサイズや配置に合わせた建築物の設計が必要になりますので、今回、設計・施工一括発注にいたしました。

問 作業しながら工事を行うことで、作業員などに影響はありますか。

答 作業と工事のエリアをしっかりと区分けた施工となるため、安全性は確保できていると考えています。

問 今後20年間におけるメンテナンス費について各事業者の差が出た理由を伺います。

答 市から提示した補修やメンテナンスの項目は変わっていないので、メーカーの技術力の差ではないかと考えています。

意見 周辺の交通や工事車両と収集車両の交通など安全面に配慮し、事故のないよう進めてください。

物品の取得について

(消防車両(救助工作車Ⅱ型))

老朽化した救助工作車を更新するもので、全員賛成により可決されました。総務常任委員会の審査概要は次のとおりです。

問 現在使用している車両の運用実績について教えてください。

答 現車両は平成14年3月から運用を開始しており、平成28年度までの救助事案は369件で、200名余りを救助しました。高速道路上の救助事案は25件となっております。

問 契約金額には資機材も含まれますか。現車両の資機材の取り扱いも含めて教えてください。

答 資機材も含めた契約金額です。現車両に積載している41項目の資機材を、そのまま新車両に積載し、新車両は合計283項目の資機材を積載します。



現在使用している救助工作車